

〔パリダマイシン・フェリムゾン・フサライド粉剤〕

農林水産省登録 第17951号
 性 状：類白色粉末45μm以下、浮遊性指数20以下
 毒 性：普通物
 危 険 物：—
 有効年限：5 年
 包 装：3kg×8

ブラシンバリダ®粉剤DL

有効成分：パリダマイシン A……………0.30% フェリムゾン (PRTR・1種)……………2.0%
 フサライド (PRTR・1種)……………1.5%



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報がご覧になれます。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

〔適用と使用法〕

作物名	適用病害名	10アール当り使用量	使用時期*	総使用回数*
稲	いもち病 紋枯病 疑似紋枯症 〔赤色菌核病菌 褐色菌核病菌 褐色紋枯病菌〕 ごま葉枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) 変色米 〔アルタナリア菌 カープラリア菌 エビコッカム菌〕	3～4kg	14日前	本 剤：2回 フェリムゾン：2回 フサライド：3回 パリダマイシン：6回 〔育苗箱灌注 は1回、本田 では5回〕

使用方法：散布

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ、見かけ比重がやや大きく流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を一目盛程度しぼって散布する。
- たばこ、けいとう及びだいず、あずき、いんげんまめの幼植物には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布する。
- きく (秀芳の力等) には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布する。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤食などのないように注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受ける。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。また、粉末を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 水産動植物 (魚類) に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。

- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。
12 頁記載の注意事項、(1)、(2)、(3)、(4)－A も合わせてお読み下さい。

〔品目特性〕

- ブラシンバリダは、他の殺菌剤とは全く異なるタイプのいもち病、ごま葉枯病と米の品質を低下させる穂枯れ性病害との同時防除剤ブラシンと、紋枯病にすぐれた防除効果を有するバリダマイシンとの混合剤で、いもち病、紋枯病、穂枯れ、変色米との同時防除剤として適しています。